

## 福岡県緑の少年交流集会キャンプ（2019/7月29日～30日）

梅雨もまさに終わらんとする曇天のもと、恒例の緑の少年団交流集会キャンプが北九州市若松区の響灘緑地玄海青年の家で行われました。団員、指導者計108名の参加です。

開会式に続いて、各少年団が日ごろの活動を発表、今年は初めて参加した大任中のプロジェクターを使った発表がありました。

続くクラフトでは環境への配慮のためプラスチック使用を控える努力をしました。（プラスチック目玉の不使用、持ち帰り袋の各自持参又は紙袋使用など）熱中するあまり時間を気にしながらの製作。

沢山作る子供、じっくり取り組む子供もおりそれぞれの創造性を表現した素晴らしい作品が沢山でした。



クラフトの途中から、ものすごい夕立が来てキャンプファイヤーの実施を心配しましたが、夕方には止み清々しくなった空気の中でキャンプファイヤーは無事実施。

恒例のキャンプファイヤー行事は、参加スタッフ出口さんからの報告。

『昨年から、先輩インストラクターのお手伝いで、私も踊りの担当をしています。』

キャンプファイヤーを囲んで、皆で輪になって踊る、このクライマックスがいかに盛り上がるかが、参加した子供たちの満足度に値するので、私たちもいつも真剣勝負です。

今年は、踊りのアンコールの声子供たちから上がり、「ひょっこりひょうたん島」「南中ソーラン」はては「ジェンカ」まで、全曲を2回踊るといふ盛り上がりぶり。

「楽しかったあ」といふ子供たちの笑顔が、キャンプファイヤーの炎に照らされるのを見て、私たちも喜びが込み上げてきました。』海辺のキャンプ場なので、十分暗くならず日の女神様が出現

に苦労しました。

次の日は、頓田貯水池の周りで自然観察です。葉っぱをテーマにした「自然観察リスト」カードを片手に木の幹、葉っぱ、森の様子を見て回りました。

今回は、天気の変り目のせい色とりどりのキノコが大発生しており、子供たちは大喜びでした。

蒸し暑く更に温度も高い二日間でしたが、県、看護師の方のサポートで無事終わることができました。

また、来年を楽しみに！！

（大森、陣内、田川、千種、手嶌、轟、出口、西田、野見山記）

フィールド発見リスト		
～頓田貯水池～ 7月30日		
たてじまのみき	よこじまのみき	ふちにギザギザのある葉
ふちにギザギザのない葉	鳥の羽根のような葉	手より大きな葉
ツヤのある葉	切れこみのある葉	虫に食べられた葉
（ ）小学校 年		
名前（ ）		